

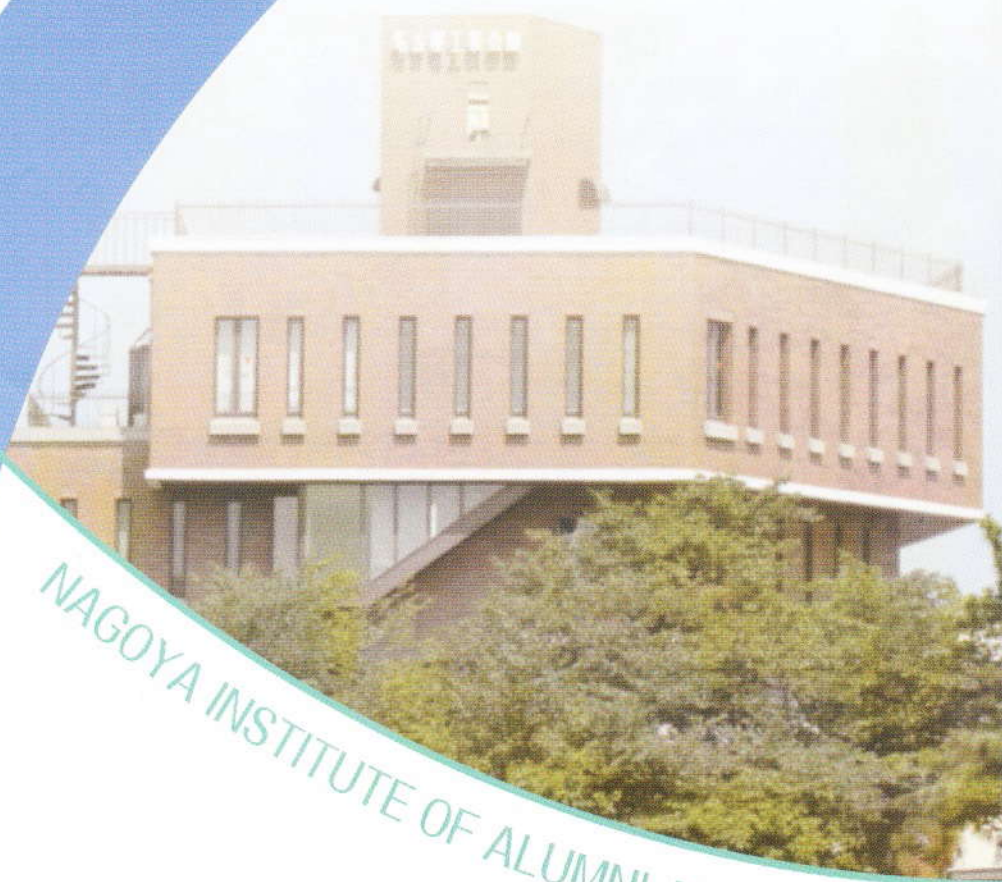


一般社団法人

名古屋工業会

(名古屋工業大学全学同窓会)

概要 2013



NAGOYA INSTITUTE OF ALUMNI ASSOCIATION

耀く、ますます耀く 母校を願って

社団法人名古屋工業会は法人創立以来47年に亘る歴史を終え、新法人法による一般社団法人名古屋工業会として、平成25年4月1日発足致しました。

新しい一般社団法人名古屋工業会は名古屋工業大学の全学生、教職員及び卒業生を会員有資格者とする全学組織であり、定款の事業目的の第一に大学の支援を掲げたのが最大の特徴です。

母校が耀く大学として、さらに輝きを増す大学として存在することは、卒業生を含めた全学の願いであり、それに向かって母校を支援することは、名古屋工業会にとって最も大切なことです。

支援にあたっての考え方は、先生方には国際的に高く評価される研究及び国際交流、学部新入生には、優秀な入試成績者への特別奨学金、在学生には社会に出てグローバルな人材であると評価される学生の育成、特に力を入れる項目の課外活動では、トップレベルを目指す活動により、優れたコミュニケーション能力を備え、忍耐力とガッツのある人材を育てる事を考えています。

大学支援の予算額は約4600万円、名古屋工業会総予算の47%に当たります。

工業会充実のための活動として、平成25年度特に力を入れるものが以下の3項目です。

①活性化活動として、会誌「ごきそ」の充実を挙げており、会員に対するさらなる大学情報の提供と、単科会、各種OB会等の会友のタイムリーな情報提供を図ります、加えて、ホームページの全面的な改訂を行います。これは昨年より学生会員が大幅に増加した事で、特に緊急の事業となります。

②卒業生名簿の充実と使いやすさを図ります。

卒業生名簿はプライバシー保護もあり、公式のものとは2001年を最後に作られていません。

卒業生をどう把握し、情報をどう伝達するかは、



一般社団法人 名古屋工業会
理事長 篠田 陽史

大学、工業会、それに単科会や各種OB会等にとって避けては通れない問題です。

平成24年度より卒業生名簿は大学が管理しデータベース化され、24年度入学者から生涯メールアドレスが入学時に渡されるようになりました。システムはほぼ出来ましたが、生涯メールアドレスの普及・活用は、まだスタート台にたったにすぎません。使える卒業生名簿はまだこれからです。

ただこのメールアドレスは名簿の校正、卒業後の大学、工業会との交流に、ひいては単科会や各種同窓会にとっても無くてはならないものになります。我々卒業生は名古屋工業大学卒業生連携室のホームページから入手出来ます。一人でも多くの方がこの生涯メールアドレスを取得し、登録・活用していくことが必要です。

25年度は、大学、工業会、単科会が協力して、それぞれの持つデータの照合を行い、使いやすいものにします。

単年度で終わる事業ではありませんので、特別に会員名簿整備予算を付け、続けてゆきます。

③最後が卒業生の大学支援として、教育、研究環境の整備充実を目的とした大学基金への寄付です。

「耀く、ますます耀く母校を願って」卒業生の皆様に寄付をお願いすると共に、工業会はこの事業を強力に進めてまいります。

一般社団法人名古屋工業会最初の一年です。

一層の強いご支援、ご協力をお願いいたします。

沿革

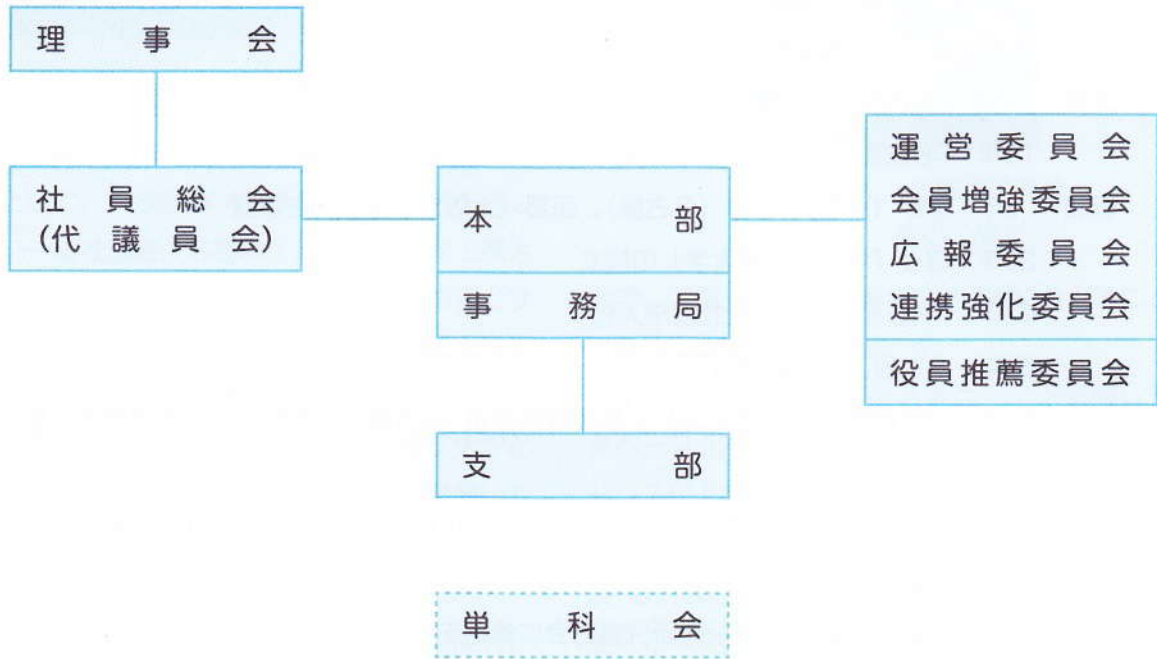
- 明治 41年 母校の前身である名古屋高等工業学校（明治38年3月開校）の第一期生が卒業し、以来各学科単位での連絡・親睦を図った。
- 大正 4年 「名古屋高等工業学校同窓会」を設立
10年 「名古屋工業会」と改称
- 昭和 6年 東部（東京）、中部（名古屋）、西部（大阪）に集会所を設置
24年 母校「名古屋工業大学」の設立
42年 「名古屋工業会」を社団法人化
51年 名古屋工業会館建設
60年 母校創立80周年を記念して学術振興基金（2.5億円）を設立し、教育研究、国際交流を支援
- 平成 7年 母校創立90周年を記念して2号館正面ロビーに山本真輔氏の日展出品作「煌き」を寄贈
12年 母校創立90周年を記念研究協力会に参画支援
17～19年 母校創立100周年記念事業を母校と連携して実施
25年 一般社団法人へ移行

目的・事業

本会は、名古屋工業大学における教育研究の支援を行うと共に、会員相互の連絡啓発を行い、学術・文化の発展に寄与することを目的として、以下の活動を行う。

1. 名古屋工業大学の教育研究活動の助成
2. 名古屋工業大学の学生に対する支援
3. 研究会及び講演会等の開催
4. 会誌等の刊行
5. 会員名簿の管理
6. 会員交流等の活動
7. 不動産の賃貸
8. その他目的を達成するために必要な事業

組織



役員

理事長	篠田陽史 (M33)
副理事長	春日敏宏 (Y56)
	阿部完二 (D41)
	木越正司 (C44)
常務理事	二杵幸夫 (K39)
監事	清水益文 (F44)
	安藤正晴 (B43)
代議員	80
支部長	22
相談役	3
参与	11
顧問	4
参事	20



支 部

支 部 名	支 部 長	所 属 地 区
北 海 道	三田村好矩 (F41)	北海道
東 北	斎藤 文伸 (A51)	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の各県
東 京	阿部 完二 (D41)	東京都、埼玉、千葉、神奈川、茨城、群馬、栃木の各県
甲 信 越	若林 俊樹 (M56)	山梨県、長野県、新潟県
静 岡	山之上 誠 (C49)	静岡県
三 河	近藤 隆彦 (B52)	安城、岡崎、刈谷、蒲郡、新城、知立、豊田、豊橋、豊川、西尾、高浜、碧南、田原、みよしの各市 一色、吉良、幡豆、幸田、設楽、東栄の各町、豊根村
名 古 屋	春日 敏宏 (Y56)	愛知県のうち名古屋、春日井、小牧、瀬戸、尾張旭、東海、北名古屋、清須、知多、大府、豊明、日進、半田、常滑、弥富の各市 豊山、長久手、東浦、阿久比、武豊、美浜、南知多、東郷、蟹江の各町、飛島村
尾 張	玉田 欽也 (W32)	一宮、愛西、江南、犬山、稲沢、岩倉、津島、あまの各市 大口、扶桑、大治の各町
岐 阜	山中 茂樹 (A34)	岐阜県
北 陸	山岸憲一郎 (K33)	福井県、石川県、富山県
三 重	松林 万行 (D48)	三重県
大 阪	木越 正司 (C44)	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県のうち尼崎、西宮、芦屋、宝塚、川西、伊丹の各市 奈良県、和歌山県
兵 庫	楠田 修三 (A50)	大阪支部以外の兵庫県
岡 山	宮崎勝秀 (A45)	岡山県
広 島	菱川躬行 (E34)	広島県
山 口	岸田 潤三 (C58)	山口県
山 陰	糸賀 輝穂 (C51)	鳥取県、島根県
香 川	細谷 芳照 (C53)	香川県
徳 島	後藤田啓造 (M38)	徳島県
愛 媛	千羽 茂雄 (C43)	愛媛県
高 知	山崎 健司 (A54)	高知県
九 州	喜多村治雄 (M40)	福岡、佐賀、大分、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄の各県
計22支部		

会 員 数

平成25年4月1日未現在 12,428名（終身会員 9,119名、 年度会員 3,309名）

会 費

- ・ 正 会 員 終身会費 卒業後 20年未満 8万円
卒業後 20～40年未満 7万円
卒業後 40年以上 5万円
年 会 費 5千円
入 会 金 5千円
- ・ 学生会員 終身会費 8万円（入会金は免除）
年 会 費 学 部 6千円、大学院 3千円
（在学中）
入 会 金 4千円
- ・ 賛助会員 1口1万円以上

財 政

予算額（平成25年度）	97,824千円
事業費	81,610
管理費	12,884
その他	3,330



活動内容

1. 母校への支援

- ① 名古屋工業大学の教員に対する研究助成金の交付
- ② OB会員による授業支援（実務型教員による授業）
- ③ 理事長が名古屋工業大学学長選考会議及び運営諮問会議の委員として大学運営に参画
- ④ 名古屋工業大学研究協力会に理事長が副会長として活動を支援
- ⑤ その他名古屋工業大学の主催する各種の事業に対する支援

2. 講演会の開催

毎年1回学術特別講演会を開催

3. 学生への支援

- ① 学生の海外留学等国際化支援
- ② 名古屋工業会特別奨学金の給付
- ③ トップセミナー及びOB講演会による就職支援
- ④ 単科会との共催による企画OBと求職学生との懇談会を通じた就職支援
- ⑤ 課外活動の支援
- ⑥ 工大祭の支援
- ⑦ 留学生後援会への援助

4. 表彰

- ① 優秀な卒業生に対する名古屋工業会賞の授与
- ② 叙勲者、国家表彰受賞者の表彰
- ③ 定年退職教職員の表彰
- ④ 永年継続会員及び退任役員の表彰

5. 広報活動

会誌「ごきそ」を隔月発行し会員に送付すると共に、ホームページによる情報発信を実施

施設

名古屋工業会館

鶴舞公園の竜ヶ池に面した風光明媚な場所にある4階建の建物で、大・小会議室、サロンおよび工業会本部事務局があります。

会議室は各種会合、研修会、セミナー等に最適で、サロンは会員相互又は大学関係者等との憩いの場や打合せの場として利用いただけます。

- ・大会議室（4F） 約100㎡ 収容人数：スクール形式で60名
設備：音響設備（ワイヤレス）、録音装置（MD）、スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード
- ・小会議室（3F） 約28㎡ 収容人数：15名
設備：スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード
- ・サロン（2F） 約60㎡ 円形テーブル（8人用） 1セット
応接セット（4人用） 1セット
応接セット（2人用） 1セット
飲み物（コーヒー・お茶）無料サービス

住所 名古屋市昭和区狭間町4番地

※ 利用方法等の詳細は、下記の工業会ホームページへ
URL <http://www.nagoya-kogyokai.jp>



大会議室（4F）



サロン（2F）

大阪サロン

関西電力他電気関連の企業が中心となり大正3年に創設した法人社交クラブで、名古屋工業会は大阪サロンとして中央電気倶楽部に入会しております。

会議、講演会、講習会、パーティー等目的に応じたスペースが確保されており、喫茶、食事はもとより、囲碁、将棋、ビリヤード等の利用もできます。

支部、単科会等の総会や幹事会をはじめ、会員の交流等にご利用ください。

住所 大阪市北区堂島浜2-1-25 TEL 06-6345-6351 FAX 06-6345-6877

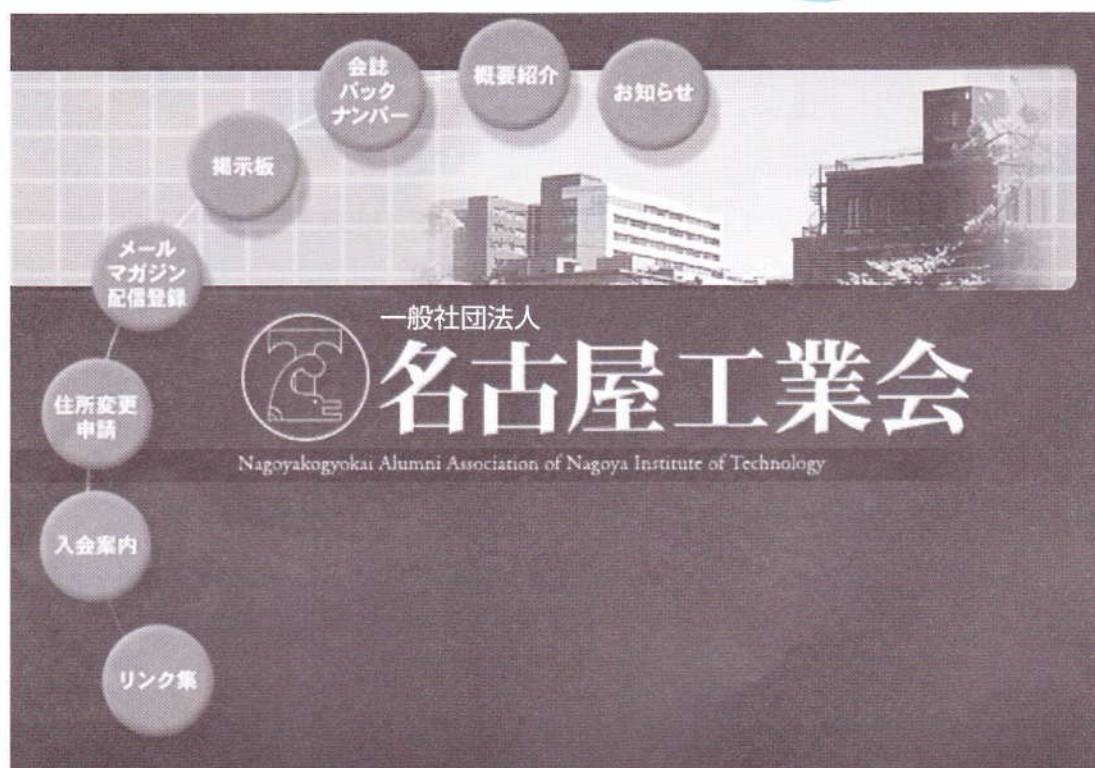


ホームページ

名古屋工業会では、会員と工業会と母校との相方向のコミュニケーション手段としてホームページを用意しております。

このホームページから母校名古屋工業大学を始め各支部、単科会へもリンクできますので、ぜひ活用下さい。

URL:<http://www.nagoya-kogyokai.jp>



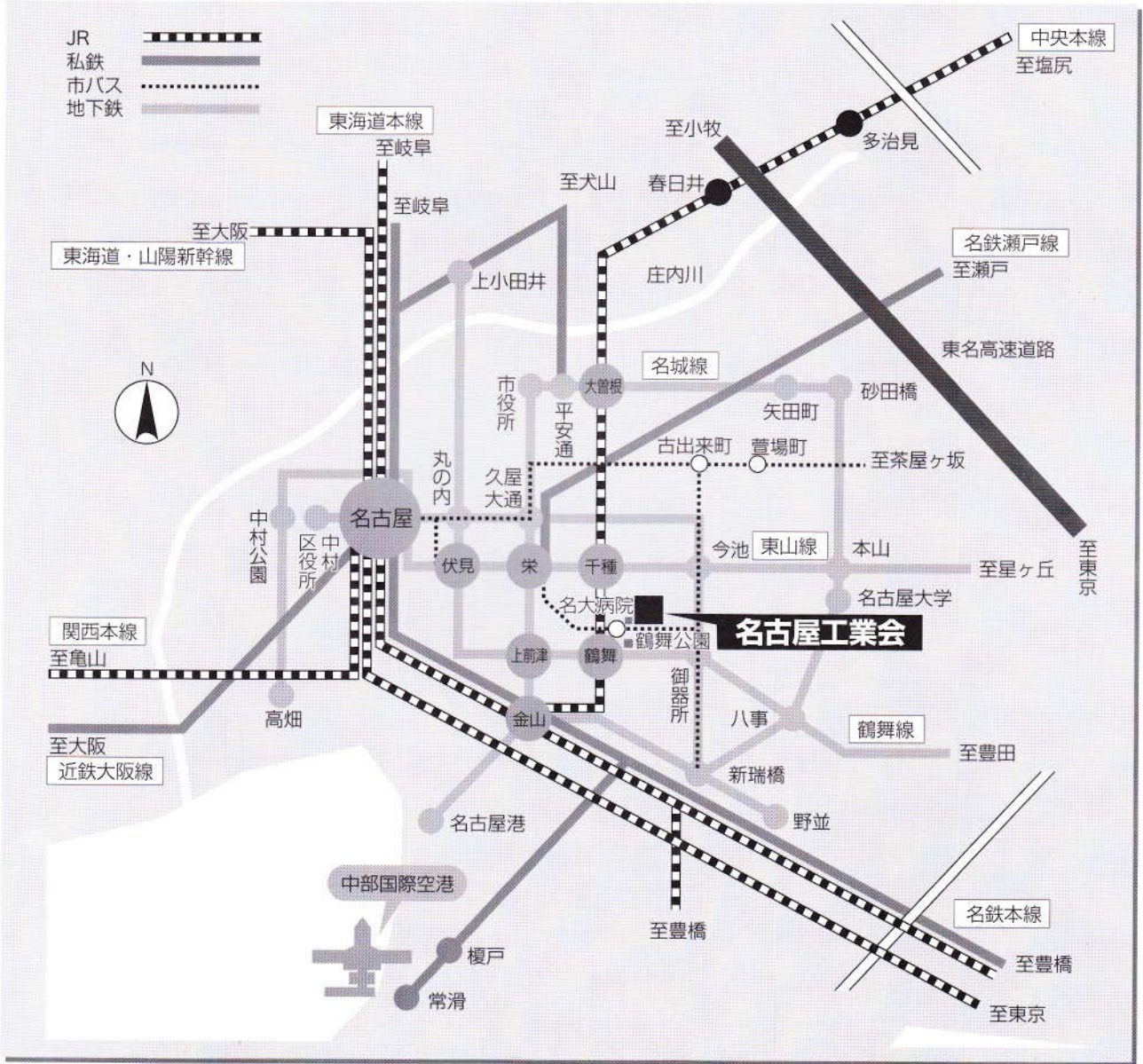
名古屋工業会への経路

JR東海 名古屋駅 ————— (中央線) ————— 鶴舞駅下車名大病院口東へ550m

地下鉄 名古屋駅 — (東山線) — 伏見 — (鶴舞線) — 鶴舞駅下車4番出口東へ550m

市バス 栄 ————— (栄18番系統妙見町行き) ————— 竜ヶ池下車西へ50m

位置図



名工大メールアドレスサービスの案内

この度、名古屋工業大学では、卒業生の皆様に無料で利用できる「名工大メールアドレス（Gmail）」を提供するサービスを開始しました。

このメールアドレスには、名工大から定期的にメールマガジン（大学、同窓会主催のイベント情報、卒業生等から寄せられる情報・寄稿、大学の取組等）等をお届けします。また、皆様方の中での連絡手段としてGoogleが提供する各種サービスもご利用いただけます。是非ご利用してください。

- 登録方法等 名工大卒業生連携室のホームページに掲載
- 問い合わせ先 名古屋工業大学卒業生連携室
電話 052-735-7563
E-mail renkei@adm.nitech.ac.jp
URL <http://alum.nitech.ac.jp/index.html>



一般社団法人 名古屋工業会 (名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4番地

TEL (052)731-0780 FAX (052)732-5298

HPアドレス <http://nagoya-kogyokai.jp> Eメール gokiso@lime.ocn.ne.jp